

2017(平29)年 12月 21日 発行

特定非営利
活動法人 全国精神障害者就労支援事業所連合会

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-3-4

新大阪高光ビル 801 JSN 地域・企業連携事業部内

T E L 06-6307-1616 / F A X 06-6307-1313

e-mail: info@vfoster.org

第 37 号

【添付資料】

JKA 補助事業 「精神・発達障害者の就労定着のために」 シンポジウムパンフレット …… 添付 1
SPIS 地域セミナーパンフレット (仙台・北九州・横浜) …… 添付 2, 3, 4

JKA 補助事業「精神・発達障害者の就労定着のために」シンポジウム開催のご案内

公益財団法人 JKA 補助事業として実施している「SPIS」の普及活動ももうすぐ丸 4 年を迎えます。今年度の事業報告会は「精神・発達障害者の就労定着のために～職場の対話と当事者のセルフ・コントロール」のタイトルで、東京・渋谷にて 1 月 26 日 (金)、27 日 (土) の 2 日間で開催いたします。

初日のセミナーでは、厚生労働省から最新施策情報をご提供いただくと共に、特別講演には SPIS と親和性が高いと考えられる認知行動療法の日本の第一人者 大野裕先生をお招きし、職場でできる認知行動療法についてお話しいたします。また、当事者や職場の担当者を交えた SPIS の実践報告や、「職場の対話」をキーワードにそれぞれの視点からの発言いただくパネル討論を行います。そして 2 日目は SPIS の実践講座を開催する運びになっております。詳細は同封の案内パンフレットをご覧ください、事務局までお問い合わせください。

SPIS 地域セミナー開催の報告と今後のご案内

今年度の SPIS 普及活動では地域セミナーの展開に注力しています。開催済セミナーの報告と今後の開催予定をご案内します。各セミナーの実施状況は年度末に発行予定の事業報告書にも掲載いたします。

日程	開催地	セミナー名	備考
平成 29 年 11 月 13 日 (月) (開催済)	京都市 島津製作所 本社	第 1 回 精神・発達障害者の雇用マネジメントを学ぶ京都の企業と支援者の研修会	協賛：京都障害者雇用企業サポートセンター
平成 29 年 12 月 15 日 (金) (開催済)	福岡市 西南学院大学	第 1 回 精神・発達障害者の雇用マネジメントを学ぶ 企業と支援者の勉強会 in 福岡 ～ それぞれの立場での課題や不安を語り合おう ～	vfoster サロンの地域拡大版的位置づけの勉強会
平成 30 年 2 月 2 日 (金)	仙台市 仙台市医師会館	精神障害者の就労定着のために in 仙台セミナー ～ 職場の対話と地域のネットワークをめぐって ～	共催：宮城就業支援ネットワーク
平成 30 年 2 月 9 日 (金)	北九州市 市立精神保健福祉センター	精神・発達障害者の雇用マネジメントを学ぶ企業と支援者の勉強会 in 北九州 ～ 雇用マネジメントツール「SPIS」の活用をめぐって ～	協力：北九州市立精神保健福祉センター
平成 30 年 2 月 23 日 (金)	横浜市 ビジョンセンター横浜	はたらきつづけるを応援する！ 精神障害者の”就労定着”研修会	共催：かながわ精神障害者就労支援事業所の会
平成 30 年 3 月上旬	福岡県内 (飯塚市周辺)	(調整中) 圏域の福祉・医療機関の支援者向け SPIS 勉強会	協力：陽山会 丸野クリニック

第7回 Vfoster サロン東京 開催のご報告

好評の vfoster サロンは、9月29日（金）に第7回東京サロンを開催いたしました。今回は、東京大学先端科学技術研究センター 人間支援工学分野 准教授 近藤武夫先生をお招きし、働く能力があるにもかかわらず、個々の障害特性等から長時間の就労が難しい障害者の多様な働き方について、「超短時間雇用」というテーマで実践されている取り組みをご紹介いただきました。

現在の日本型雇用の要件は「基本週40時間（障害者は30or20時間）働く必要がある」、「何かできないことがある人は障害者枠になったり、雇用対象とならない」といったことで雇用参加する上で社会的障壁となっているというお話を端緒に、就労困難な障害者がどのように雇用参加していくかの超短時間雇用雇用モデルを、日本型雇用の問題点と照らし合わせ実践しているプロジェクトを具体的に解説していただきました。法定雇用率の基準未満の短時間でも就業できるとすれば、精神保健福祉手帳の保有者に限らずニートや引きこもりの若者など多くの人の可能性を拓くのではないのでしょうか。このような先駆的な取り組みに一同感銘を受け、vfoster 事務局としましても平成30年度法定雇用率改正とあわせ、注目してまいります。第8回の東京サロンは平成30年3月頃の開催予定です。



兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会 20周年記念大会 「社会復帰から社会進出へ～浦河べてるの家の歩みから～」 参加報告

11月12日（日）兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会（職親会）の主催で、表題シンポジウムが開催され、事務局の三原/佐伯の2名が聴講しました。記念式典は兵庫県職親会の会長で vfoster 理事でもある野村浩之氏の開会挨拶で始まりました。記念講演では、社会福祉法人浦河べてるの家の理事である向谷地生良氏、ソーシャルワーカーである伊藤知之氏・東大地氏より「べてるの家」の歩みをお話いただきました。そして座談会では「べてるの家」の当事者2名と兵庫県内の当事者3名を加え、日頃の悩みに加えて自分らしく豊かに生きるための夢を語っていただきました。座談会で当事者の話を聞く中で感じたのは、それぞれの方が自分自身の障害を受け入れ、自分らしく楽しく毎日を過ごされているという事でした。事務局員2名ともに感銘を受け、登壇された皆さんの笑顔からたくさんの元気を頂きました。

しごと Mentor 創刊のお知らせ

平成26年3月をもって休刊した「Job Mentor（ジョブメンター）」が、装いも新たに平成30年1月に「しごと Mentor（しごとメンター）」として生まれ変わります。この4年間で精神障害者を取り巻く就労環境には劇的な変化がありました。平成30年4月、精神障害者の雇用がいよいよ義務化されます。私たちはこれからも原点を忘れず、当事者がしっかりと職場に定着し、かけがえのない仲間として活動できる様に進んでいきたいと考えております。この度創刊する「しごと Mentor」は、そんな私たちの思いを形にしたものです。どうかお手にとってお読みください。平成30年2月頃を目途のお届け予定ですのでご期待ください。

V f o s t e r ニュースについて

寒さも本格的になってきました。当会の活動は年度後半に繁忙期を迎えます。平成30年1月26日・27日は平成29年度の集大成である事業報告会を開催致しますが、その準備がいよいよ慌しくなってきました。開催にあたり、至らぬ点もあるかと存じますが、皆様のご理解ご協力がある事業運営となりますので、今後ともご指導の程、宜しく願い申し上げます。本ニュースにつきましても、ご意見ご要望あれば是非お聞かせください。

（担当：三原、佐伯）

※事業所連合会のホームページ（<http://vfoster.org>）も併せてご覧ください。